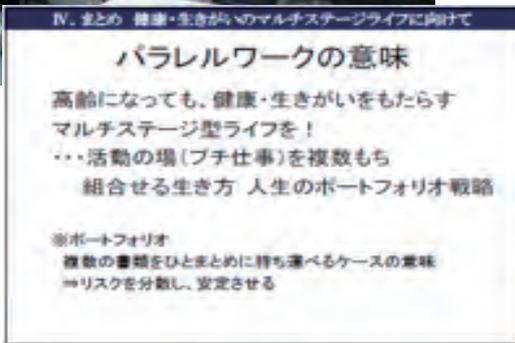


自治体（他地域）への事業紹介活動 (担当：遠座)

3月の動きと4月以降の予定（遠座）

◆3月2日（水）西脇市茜が丘複合施設“みらいえ”にて、後半人生にむけたパラレルワークの重要性と意義について90分講演しました（兵庫県いきいきサポート事業のパラレルワークセミナー）。地域の一般市民のほか、西脇市役所、介護施設職員も参加され、「介護施設が高齢者短時間就労用に仕事を切り出すときの注意点は？」、「西脇市でも高齢者の短時間就労のシステムを考えたいが、自治体がこのシステムを導入する場合に気をつけるポイントは何か？」など具体的な質問が相次ぎました。



◆3月8日（火）摂津市コミュニティプラザにおいて、「無理ない範囲で健康のために働く」市民が健康・生きがい就労トライアルに参加する意義」と題して講演を行いました。これは、摂津市健康・生きがい就労トライアル事業の一環によるもので、昨年引き続き行われました。コロナウィルスまん延防止等重点措置が発令される中での開催でしたが、「広報せつつ」の記事を見られた昨年より多い11人の高齢者が参加され、うち9人（8割超！）の方が2施設に分かれ、4月から就労を開始されました。

健康・生きがい就労トライアル説明会

～今こそ、あなたの力が必要です！～

介護施設などで働く人をサポートする就労トライアルにチャレンジしてみませんか？参加希望者を対象に、下記の日程で説明会を開催します。

日 時 3月8日(火) 午前10時～12時
場 所 コミュニティプラザ・コンベンションホール
対象者 元気でおおむね60歳以上の人
申込み 3月4日(土)までに高齢介護課へ (※可・先着)
定 員 25人

就労トライアルとは

【内容】介護施設などで働く人のサポート（食事の配膳、浴室の掃除など）
※直接的な介護の仕事ではありません
※賞金あり

【期間】3カ月間
(週2日・1日あたり2～3時間)

◆マスコミ対応

3月22日大阪ガス広報部を通じて、朝日新聞の高齢者「なるほどマネー」特集担当者から取材を受けました。行政や企業、団体の取組みの一つとして紹介されるようで、プチ就労継続の重要性や継続のための必要な要素などを具体例や根拠を交えながらお話ししました。5月22日付けの紙面に載るようです。

2022年度春期 主な予定

4月

- ・フレミラ宝塚（宝塚市立老人福祉センター）から受託したスマホ講座 計3本（Android2年目コース、iPhone2年目コース、及びAndroid初級半年コース）が始まります。
- ・大東市からの依頼で、高齢者の就労活動を促進する市民協働縁卓会議立上げ業務が始まります。
- ・コープこうべ、ミライキャンパス（子育て支援団体）、自治会等地域団体との共同による地域居場所づくり“ここおる”事業が始まります。

5月

- ・11日（水）“ここおる”がオープン。以降地域の高齢者向けに定期的なスマホカフェなどを実施していきます。
- ・25日（水）大阪府大東市の縁卓会議メンバーを募るべく市民会館にて66歳地域デビュー応援講演を行います。
- ・29日（日）14時～ 私たちNPO健康・生きがい就労ラボの年次総会をオンライン併用で開催します。
- ・そのほか、高齢者就労に熱心な食品メーカーや通信キャリアなどからも協力関係のお話をいただいております。その対応をしていくほか、FM大阪でのラジオ出演なども予定しています。

啓発・研修事業分野 (担当：山口)

3月のスマホ講座は2月からの継続している伊丹市中央公民館とコロナウィルスのまん延防止等重点措置が発令され延期になっていた摂津市社会福祉協議会の2か所で開催されました。摂津市は校区ごとの連絡網をLINEで構築するために課題として「グループLINE」を習得しました。

また宝塚市立中央図書館で開催予定していたスマホ講座は、まん延防止等重点措置が発令されて次年度に延期になりました。

昨年6月から受託してきた2021年度のスマホ講座は3月で無事終了することができました。

2022年度は、フレミラ宝塚の4コースなどを既に受託しており、更に我々独自主催のスマホカフェなどを企画してこれから新たな活動を進めていきます。

宝塚地域拠点づくりレポート No.2

拠点の名前が「ここおる」に決定！

宝塚市鶴之荘の地域拠点の名前が「ここおる」に決定しました！

「cocor（ルーマニア語で”鶴”）「Co（共同）「ここにいる」という意味を含み、誰でも読みやすいひらがなで、伸ばし棒を小さい”お”にした表記で決定しました。様々な方からアイデアをいただき、ありがとうございました！

運営委員会と事務局を立ち上げ、方針や具体的なオペレーションづくり

名前も決まり、オープンに向けて準備が始まっています。内装工事などが進み、床はウッド調のクッションフロアに張り替えられ、一気におしゃれな空間になりました！

オープンに向けたミーティングには、毎回10名以上の方が参加され、疑問点や要望などを伺って、議論しています。

お隣の第一病院からも看護師さんや地域推進担当の方が覗いてくださり、高齢者の健康維持や病気予防に関する取り組みなどをここでやってみたい、といったお声も頂きました。

準備が進むにつれ、「ここでは何ができるの?」「いつ開くの?」などのお問合せも多くなってきており、早急にオープン準備を進める必要があります。

しかし、たくさんの人に使える、みんなが集える場所にするには、まずはここがどんな場所なのかを決める必要があります。

そこで、コープこうべ第一地区本部、宝塚ミライキャンパス、健康・生きがい就労ラボのメンバーで事務局を設置。まちづくり協議会や自治会などのステークホルダーの方々には、「運営委員会」に参加して頂き、地域になじめる居場所となれるような方針作りをしています。

事務局では、鍵の管理や予約受付はできるだけデジタルを使いスマートにできるように、。オープン後、受付スタッフなど、デジタルをフル活用したプチ就労の場をつくるべく、準備を進めています。

本オープンは5/11(水)

まずは週1のコミュニティカフェから

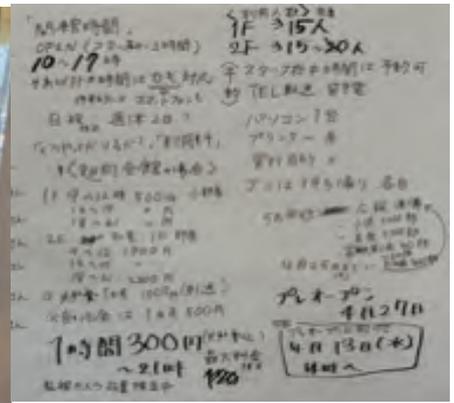
オープン日が5/11に決まりました。4月中に、什器や備品の荷入れ、レイアウト、ルール作りなどを済ませ、まずは毎週水曜日のコミュニティカフェのオープンを目指します。そして、午後からは、スマホの使い方の相談が気軽にできるスマホカフェを開催したいと準備しています。



宝塚市鶴の荘19-14



お問い合わせ：橋之爪理事 a.hashinotsume@lifespiceworks.com



地域の就労、ボランティア、イベント参加を促進するアプリ・プチ活 開発中！ 担当：吉住理事

「2021年度はご賛同者の皆様の協力のおかげで、プチ活（試作品）の試験を行い、沢山の改善点を見つけることができました。ありがとうございました。

年度末にかけて、大幅な改修を進めており、次年度はより使いやすいプチ活にパワーアップできるかと思えます。引き続き、ご支援のほどどうかよろしくお願いします」



ラボへのお問合せは、lab-contact@lifespiceworks.com